

琉球大学医学部附属病院 がんセンター
令和元年度（2019）がん患者等支援事業

がん情報及び地域がん医療説明会 「もしも黒島でがんになったら」 に関する報告書

2019年10月17日

地域の療養情報「おきなわ がんサポートハンドブック」の刊行に際し、本書の活用説明会を竹富町・黒島で実施した。竹富町におけるがん医療の在り方について、竹富町副長・担当課長らと協議した。また、講師をされる竹富町立黒島診療所医師とも同様の協議を行った。

■竹富町におけるがん医療の在り方についての協議

(竹富町役場)

日 時：令和元年10月17日（木）11：45～12：10

場 所：竹富町役場 町長室

出席者：竹富町 副町長 前鹿川 健一 様

竹富町役場 健康づくり課 課長 上野 エミ 様

竹富町役場 健康づくり課 係長 古見 用介 様

琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田 昌人

琉球大学医学部附属病院がんセンター事務補佐員 東 啓子

(竹富町立 黒島診療所)

日 時：令和元年10月17日（木）16：20～17：10

場 所：竹富町立 黒島診療所

出席者：竹富町立 黒島診療所 所長 末松 聡史 様

琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田 昌人

琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務補佐員 東 啓子

■がん情報及び地域がん医療説明会「もしも黒島でがんになったら」

日 時：令和元年10月17日（木）20：05～22：00

場 所：黒島伝統芸能館

参加人数：42人

内 容：(1) 講演「がん情報のさがし方勉強会 in 黒島」

琉球大学医学部附属病院 がんセンター長 増田 昌人

(2) 講演「黒島でできるがん医療」

竹富町立 黒島診療所 所長 末松 聡史 様

(3) 質疑応答

(4) 閉会のご挨拶

竹富町役場 健康づくり課 係長 古見 用介 様

■個別相談

日 時：令和元年10月17日（木）講演会終了後

場 所：黒島伝統芸能館

相談者：なし

※講演会中の質疑応答において、質問が多々あった。



国民の2人に1人はがんになる時代です。
いざというとき、自分の納得いくかたちで
病気と向きあうために、がん治療の現状も
交えながらお話しします。

もしもに備えて考えてみませんか？
どなたでも、お気軽にご参加ください。



がん専門医が伝える
病院・診療所の上手なかかり方



もしも 黒島で がんになったら

—がんサポートハンドブック・
—がん療養場所ガイドブック
活用説明会in黒島—

竹富町のみなさまへ
がん診療の疑問や不安を解消する説明会を
黒島で開催します。地元の診療所でどんな治
療ができるのか、がん情報がしのコツを、専
門家の立場からお話しします。
がんはすべての人にとって身近な病気です。
情報は“力”となり療養生活を支えます。
まずは「知る」ことから始めませんか。

琉球大学医学部附属病院 がんセンター長
増田 昌人



(講演)

- ・黒島でできるがん医療について 黒島診療所 末松 聡史先生
- ・病院のかかり方、情報の集め方 琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人

日時:10月17日(木) 午後8時～9時10分(午後7時半開場)

※終了後、希望者には医師による個別がん相談対応あり

場 所:黒島伝統芸能館

対 象:竹富町にお住まいのみなさん 参加費:無料

主 催:琉球大学医学部附属病院がんセンター 沖縄県がん患者等支援事業

内容に関するお問い合わせ:琉球大学医学部附属病院 がんセンター

☎ 098-895-1531

- 広報手段 : 竹富町・黒島配布の広報誌へのチラシの挟み込み
役場及び黒島島内へのポスター掲示、
防災無線による島内放送
黒島診療所スタッフによる住民への声掛け

がん情報のさがし方勉強会 in 黒島

「おきなわがんサポートハンドブック」
「がん患者さんのための療養場所ガイド」

琉球大学医学部附属病院がんセンター
増田 昌人

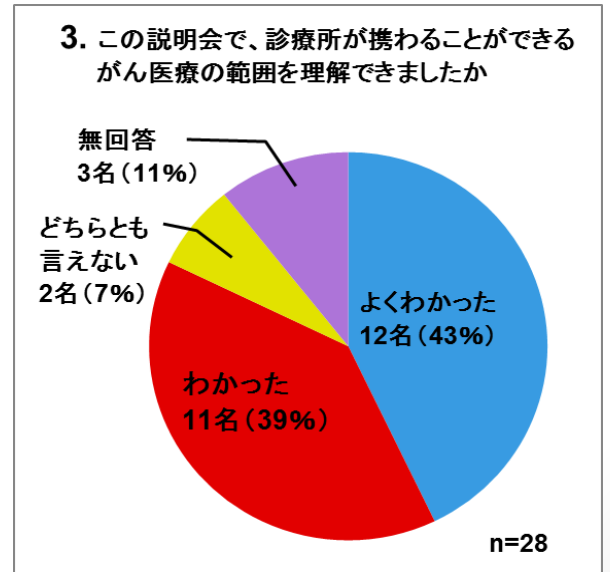
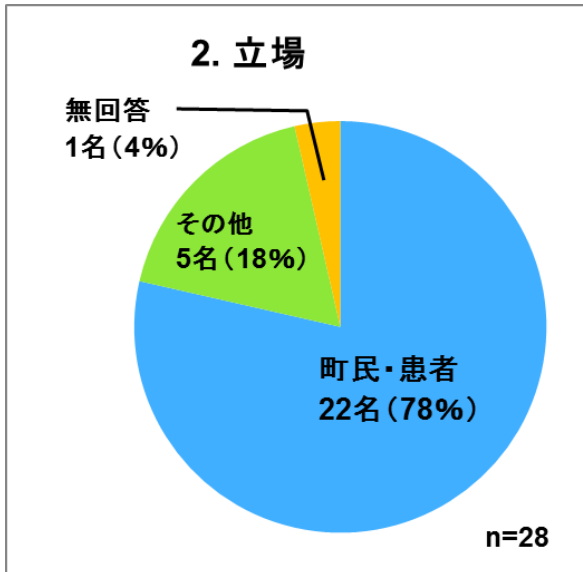
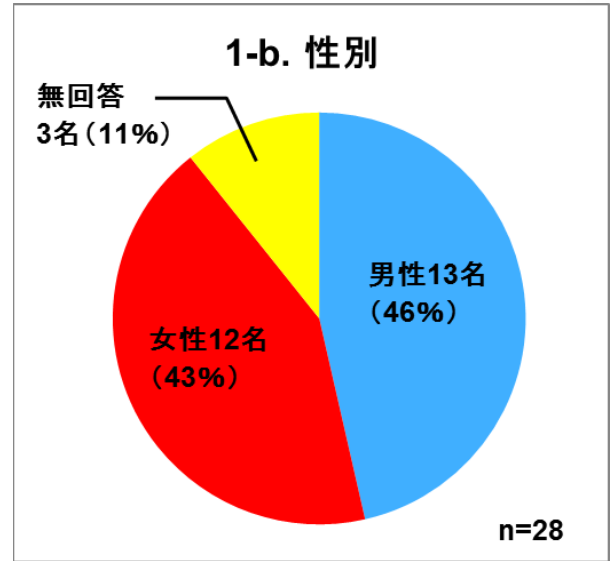
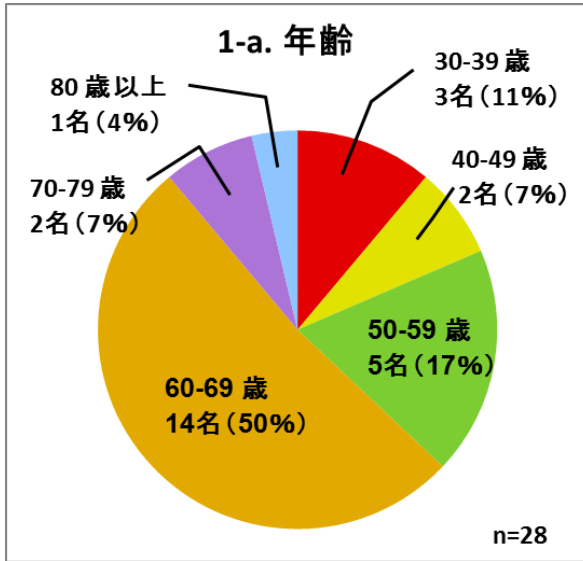


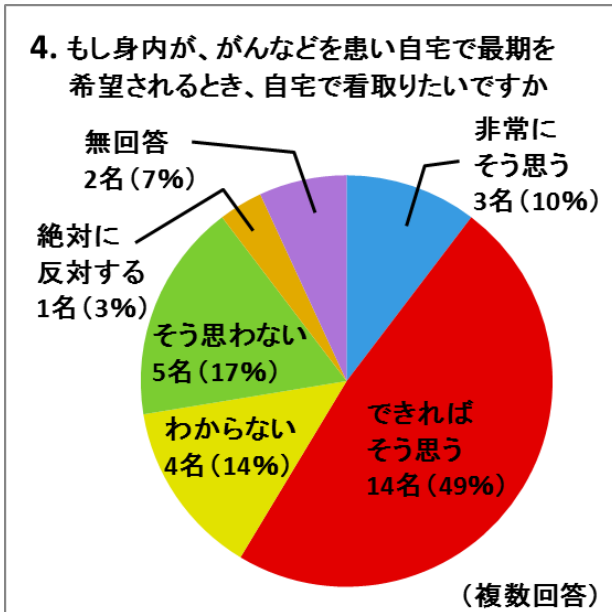
黒島でできるがん医療について
～がんを予防しよう～

黒島診療所 診療所長
末松 聡史



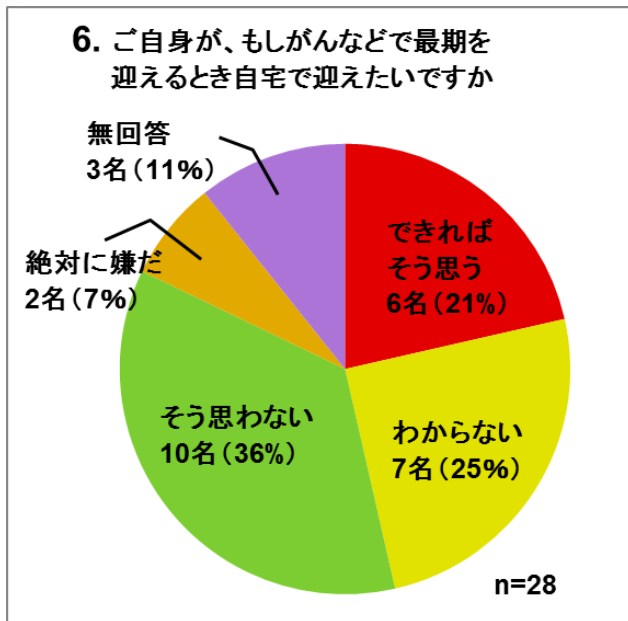
参加者42人 アンケート回収28人 アンケート回答率67%





5. 4の理由を教えてください。

- おだやかな気持ちでストレスなく迎えさせたい。
- 本人が望んでいるから。
- 身内の気持ちをできるだけ尊重したいので。
- 淋しい思いをさせたくない。淋しい思いをしたくない。
- がんではありませんでしたが、数年前に母を自宅で看取りました。本人が希望するのであれば、自宅で看取りたいです。
- 本人の希望が優先されるべき。
- ケースバイケースで。
- 最後の対面をしたい。
- 本人の希望をかなえたいから。
- 人の最後の希望であればかなえてあげたいと思う。
- その時にならないと分からない。
- 病院にて治療してもらいたい為、入院希望。
- 死の判断がむづかしいと思う。
- 本人の気持ちをくみたい。
- 他人にめいわくかけたくない。



7. 6の理由を教えてください。

自分は家族に迷惑をかけたくない。

家族に負担をかけたくないから。

あまり家族に迷惑をかけたくないの。

家族に迷惑かけたくない。

家族への負担。

その時の状況。

まだわかりません。

親、姉妹など最後を説明してみとりたい気持ちがある。

家族がいない。痛いまま死にたくないの、痛い時のサポートによる。

ピンピンコロリンであればそうしたい。長く入院等であれば、一時帰宅後、最後は病院で、家族に負担がかからないように。

まだ考えた事がない。

今の時点では考えをまとめていない。家族の事もありますの。

家族に迷惑をかけたくない。

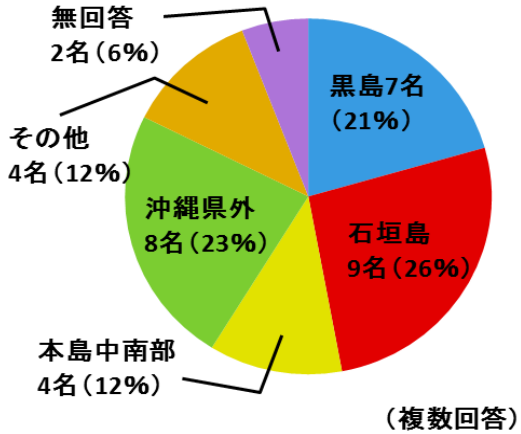
家族がない。

人に世話をかけたくない。

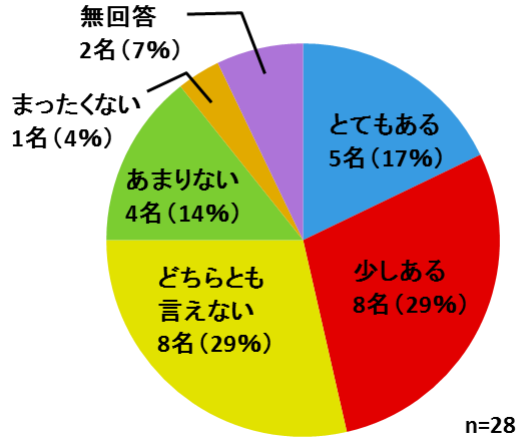
その状況に応じたい。

安心して死ねる。

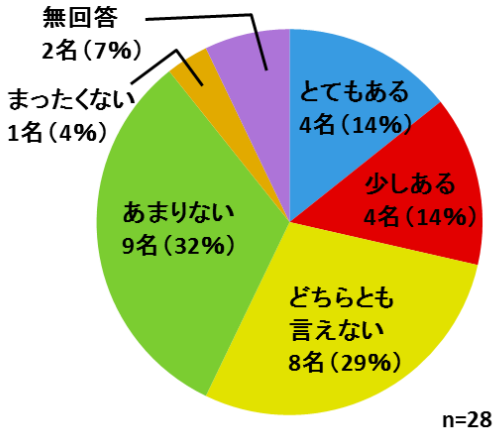
8. もしあなたががんになったら、
どこで治療したいと思いますか



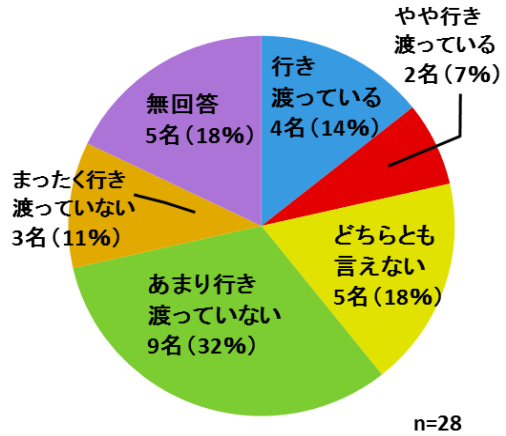
9. がんになったとき、黒島で
治療することに不安はありますか



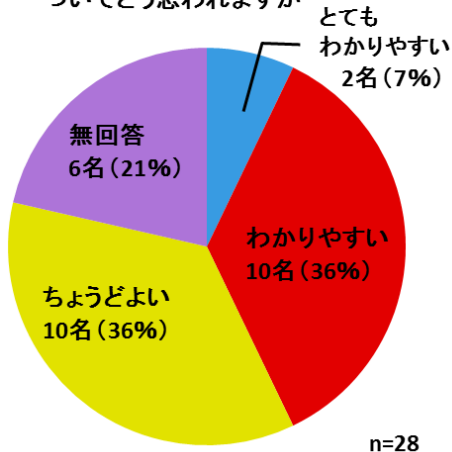
10. がんになったとき、石垣島で
治療することに不安はありますか



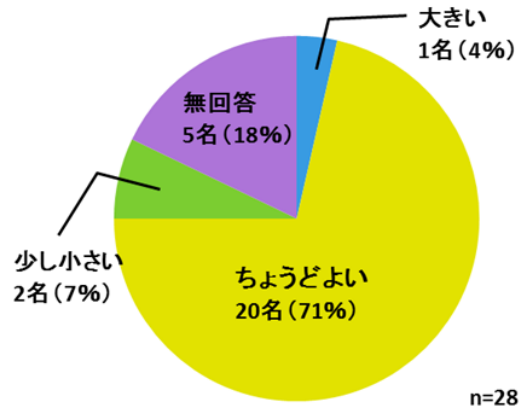
11. 黒島では、がんの療養について
十分な情報が行き渡っていますか

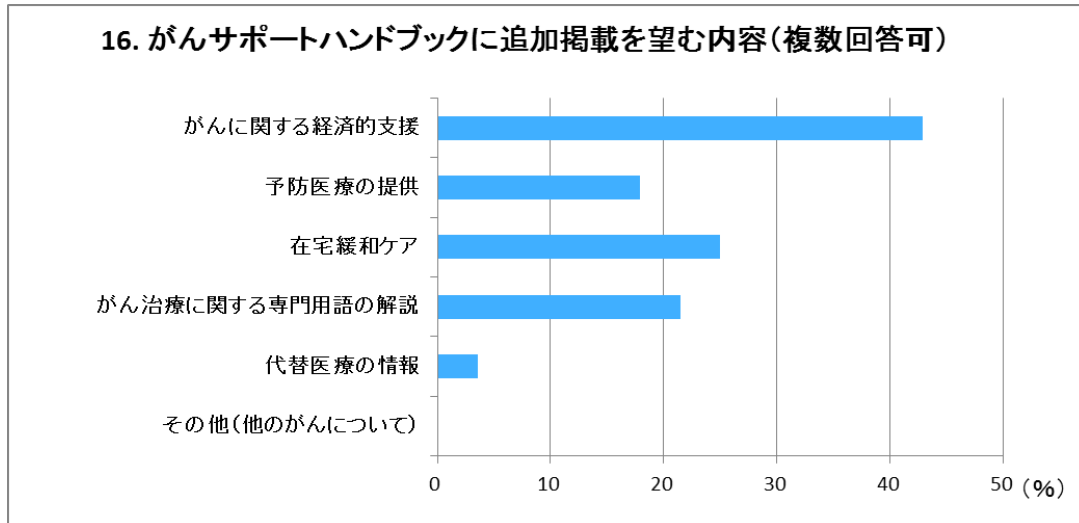
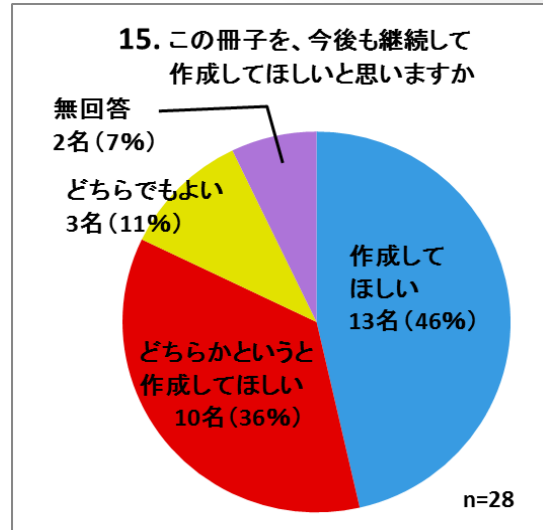
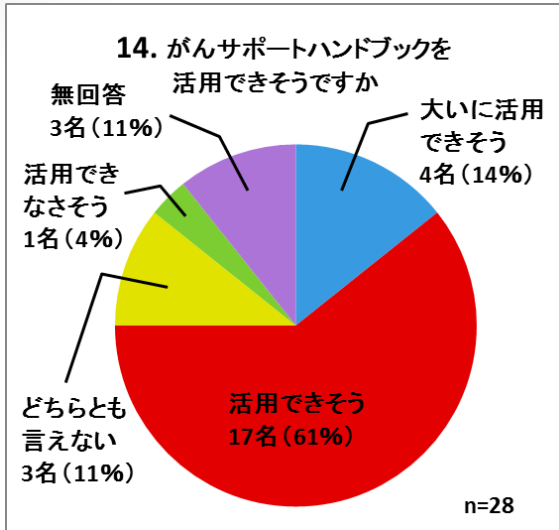


12. がんサポートハンドブックの内容に
ついてどう思われますか



13. がんサポートハンドブックの文字の大きさ
(フォントサイズ)についてどう思われますか





17. 説明会の感想や、病院への要望など何かあれば自由に記載してください。

県外出身者です。独身です。家族は全員東京在住です。

とても分かりやすい内容で良かったです。黒島又は石垣島でもガンは治せると聞いて安心しました。

琉大病院と八重山病院は同じです。とても心強いことばをありがとうございました。

がんは、自分では気づかないですか？

説明会を通し、がんに対し住民の共通理解が出来、黒島の診療所が身近になりました。ありがとうございました。

診療所で検査ができればいいですね。(がん以外でも)

八重山病院

時々、たまに話が聞きたいと思う。

今日の2人の先生のお話とてもわかりやすく話してもらいました。ありがとうございます。

○ 当日の様子（意見交換）

■ 竹富町におけるがん医療の在り方についての協議

（竹富町役場）

前鹿川 健一 副町長
健康づくり課 上間 エミ 課長
健康づくり課 古見 用介 係長



（竹富町 黒島診療所）
末松 聡史 先生



■ がん情報及び地域がん医療説明会 もしも黒島でがんになったら

講演：「がん情報のさがし方勉強会 in 黒島」

琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人



講演：「黒島でできるがん医療」

竹富町立 黒島診療所 末松 聡史 先生



質疑応答



竹富町担当者（ご挨拶）



琉球大学医学部附属病院がんセンター
令和元年度 がん患者等支援事業

医療機関への説明会 「ピアサポート活動と がんについて」 に関する報告書

2019年12月20日

地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」の刊行に際し、本書の活用説明会を名護市で実施した。医療機関への説明会「ピアサポート活動とがんについて」において、がん情報のさがし方に加えピアサポートについても講演を実施した。

北部地区におけるがん医療の現状について、学校関係者と協議した。

■医療機関への説明会「ピアサポート活動とがんについて」

日 時：令和元年12月20日（金）13:00～14:30

場 所：北部看護学校 5階講堂

参加者：北部看護学校生徒及び教職員 全員

（北部看護学校）

日 時：令和元年12月20日（金）14:35～15:00

場 所：北部看護学校

出席者：北部看護学校 実習調整者 與那覇憲明 様

沖縄県地域統括相談支援センター・ピアサポーター 西村克敏


琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田昌人

沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 浦崎みゆき

琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務補佐員 東 啓子

○ 告知ツール（チラシ・ポスター）

医療機関への説明会



わたしと同じ思いを持っている人はいるの？

誰かに話を聞いてほしい。

家族や職場にどう話したらいいんだろう…

家族として何が出来るだろう。

がんについて不安や心配ごとはありませんか？

がん体験者によるピアサポートを行っています。ピアとは仲間という意味です。がん患者さんやご家族の方の心配ごとなどを、同じ立場で聴いたり体験をお話したりする活動のことです。みなさんに広く周知するため理解していただくための普及活動として説明会（講演）を開催します。

日 時：令和元年12月20日（金）13:00～14:30
◇ 13:00～14:00
「ピアサポート活動とがんについて」
琉球大学医学部附属病院がんセンター
沖縄県地域統括相談支援センター
センター長 増田昌人

◇ 14:00～14:30
「わたしのがんピアサポート」
沖縄県地域統括相談支援センター
相談員 西村克敏

場 所：北部看護学校 5F講堂
〒905-0005 名護市字為又1219番地91

主 催：沖縄県地域統括相談支援センター（沖縄県委託事業）
共 催：琉球大学医学部附属病院がんセンター

がんに対する情報をどこで得るか？

1. 主治医やその他の医療者から、情報をとことん得る

- あなたを診ている主治医や看護師等の医療者は、あなたの状況に基づいて、最も適した情報を提供してくれる存在
- 本当に必要なのは、あなたの現在、または将来の状況に基づく個別化された情報であり、一般的な情報ではない

2. 別の医師の意見を聞く「セカンドオピニオン」を活用する

3. がん診療連携拠点病院の「がん相談支援センター」を活用する

4. 書籍を活用する

- 推奨できるものは限られているので、信頼できるもののみを閲覧する(詳細は後述)

5. インターネットを活用する

- 推奨できるものは限られているので、信頼できるもののみを閲覧する(詳細は後述)

2019/12/20

ピアサポート活動とがんについて

2

推奨できる書籍①; 患者必携三部作

- 「(第1次)がん対策推進基本計画」(2007年策定)にて、その作成等が定められたのがきっかけで作成された
- がん患者にとって必要ながんに関する情報を取りまとめた冊子で、がんと診断されたすべての方に、患者必携に含まれる情報を届けることで、患者がより良い療養生活を送ることを目指している
- 以下の三部作である

自分らしい向き合い方を考えていくために読む『がんになったら手にとるガイド』(950円) 2015年10月改訂

聞いたり調べたりして理解したことを書きとめて整理する『私の療養手帳』(ガイドに付属) 2015年10月改訂

相談窓口などの情報をとりまとめた『地域の療養情報』(無料) (A5判サイズ) 2018年3月発行



2019/12/20

ピアサポート活動とがんについて

3

■ 医療機関への説明会「ピアサポート活動とがんについて」

